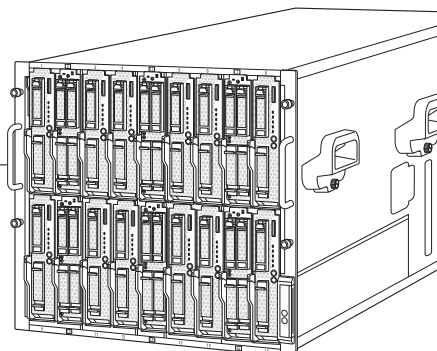


8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1  
0  
9

# PRIMERGY BX900 はじめにお読みください

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本書では、PRIMERGY BX900ブレードシステム（以降、本製品）の導入について、セットアップの基本的な流れを説明しています。  
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。  
本書に記載されていない項目や詳しい手順については、関連する各マニュアルをご覧ください。



（イラストは、BX920 S1 サーバブレードの例です）

## 本製品のマニュアルについて

本製品の各マニュアルは、『PRIMERGY ServerView Suite DVD 2』に格納されています。  
必要に応じてお読みください。

ブレードシステムの概要については、『シャーシ ハードウェアガイド』をご覧ください。

## 1 作業を始める前に 『梱包物一覧』 『安全上のご注意』

### 梱包物を確認する

シャーシ、およびサーバブレードそれぞれの「梱包物一覧」をご覧になり、  
梱包物がすべて揃っているか確認してください。

☐ 「梱包物一覧」  
（シャーシ）



☐ 「梱包物一覧」  
（サーバブレード）

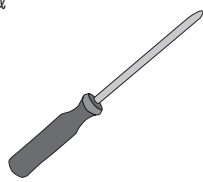


### 必要なものを用意する

本製品のセットアップには、製品に同梱されているもの以外にも次のものが必要になります。  
作業を始める前に、すべて揃っているか確認してください。

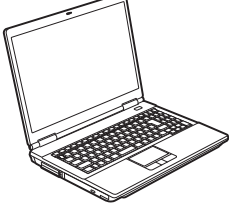
☐ プラスドライバー（2番）

シャーシをラックに搭載  
するときに使用します



☐ 管理端末（パソコン）

マネジメントブレード、  
およびコネクションブ  
レードの初期設定に使用  
します



☐ DVDドライブ（USB）



☐ キーボード（USB）

☐ マウス（USB）

☐ ディスプレイ（アナログ）

サーバブレードにOSをインストールするときに使用します

### 『安全上のご注意』を確認する

『安全上のご注意』には、本製品を安全に正しくお使いいただく  
ための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる  
前に、必ずお読みになり、正しく安全に取り扱ってください。  
また、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管  
してください。



## 2 シャーシを設置する

### 設置条件について

本製品は、ラックに搭載して使用します。ラックの設置および取り扱いについてはラックに添付のマニュアルをご覧ください。  
本製品のラック搭載条件や消費電力などの設計構築に必要な情報については、  
「PRIMERGY」ページの「技術情報」（<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/tec.html>）  
で公開されている「ラックシステム構築ガイド」および「サーバ消費電力・質量計算ツール」をご覧ください。  
なお、本製品は、専用室での使用を前提に設計されており、オフィス環境での運用には騒音上の問題が発生いたします。専用室へ設置してください。

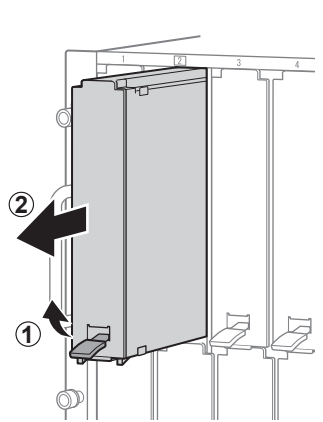
### 『ラック搭載ガイド』

本製品の設置環境条件につ  
いては、『安全上のご注意』をご  
覧ください。

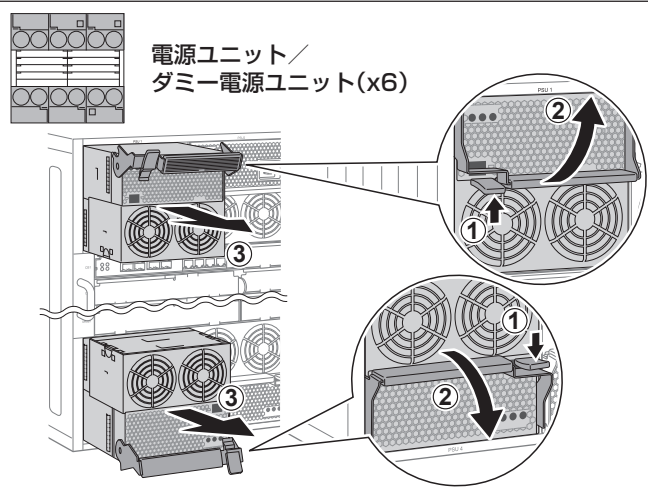
### コンポーネントを 取り外して軽量化する

シャーシには、標準搭載のコンポーネント、およびカスタマイドサービスで選択されたコンポーネントがあらかじめ搭載されています。  
油圧リフターなどを使用しない場合は、安全のためすべてのコンポーネントを取り外してからラックに搭載してください。  
なお、これらを取り外しても約49kgの質量がありますので、搭載作業は3人以上で慎重に行ってください。

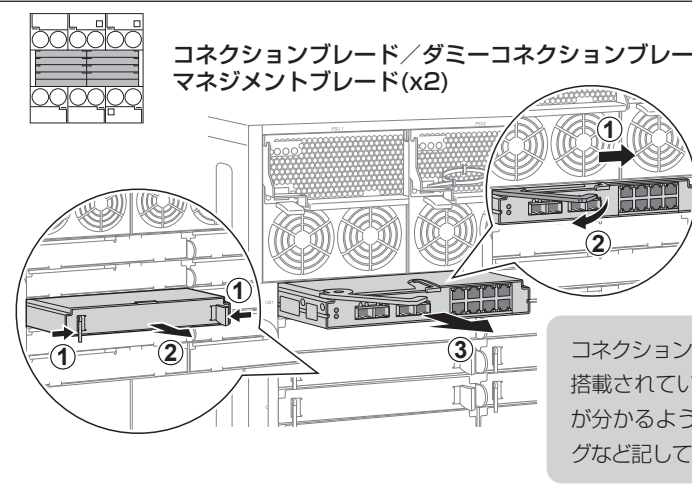
ダミーサーバブレード(x17)



電源ユニット／  
ダミー電源ユニット(x6)



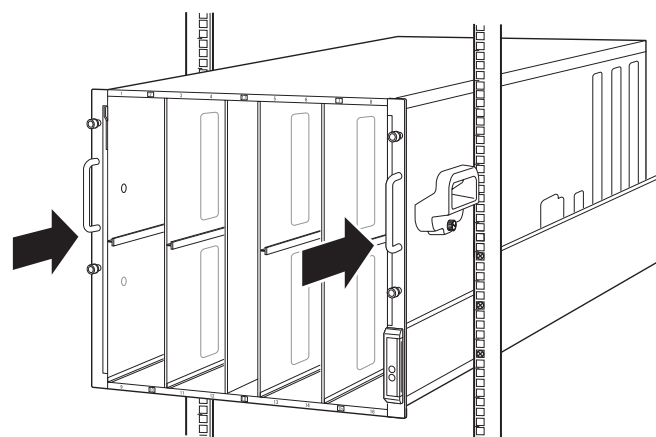
コネクションブレード／ダミーコネクションブレード(x8)  
マネジメントブレード(x2)



コネクションブレードは、  
搭載されていたスロット  
が分かるようにマーキン  
グなど記しておきます。

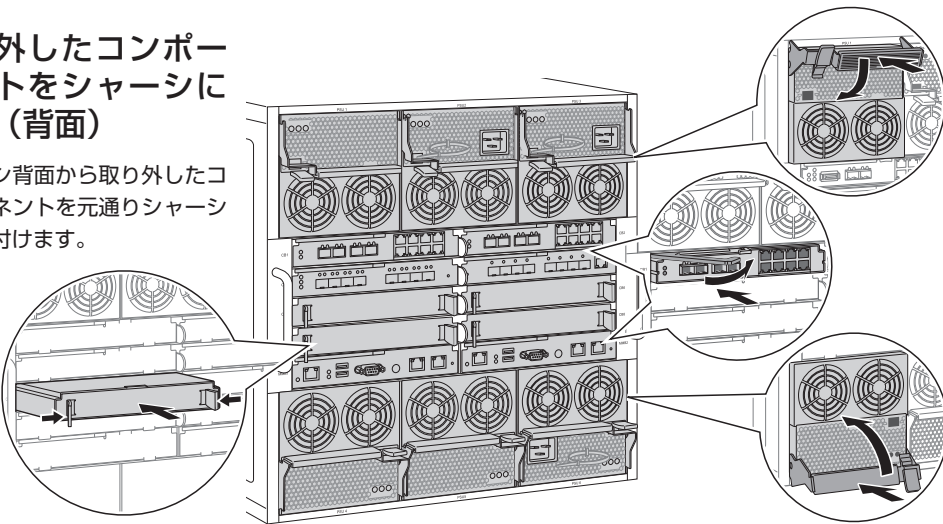
### シャーシをラックに 搭載する

ラックへの搭載手順  
は、『ラック搭載ガイ  
ド』をご覧ください。



### 取り外したコンポー ネントをシャーシに 戻す（背面）

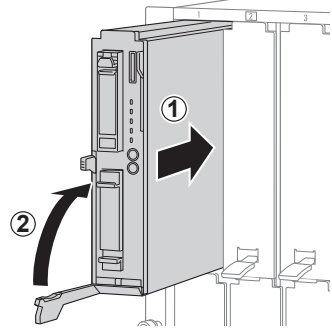
シャーシ背面から取り外したコ  
ンポーネントを元通りシャーシ  
に取り付けます。



## 3 サーバブレードを搭載する

### サーバブレードを取り付ける

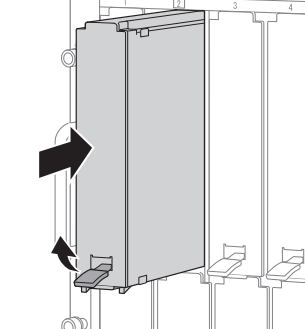
サーバブレードに別売オプションを取り付ける場合は、サーバブレードの  
「ユーザーズガイド」をご覧ください。



（イラストは、BX920 S1 サーバブレードの例です）

ストレージブレードは、ここではまだ搭載しません。接続するサーバ  
ブレードのOSインストールが完了してから搭載してください。

### ダミーサーバブレードを 取り付ける



空きスロットには、必ずダミーサー  
バブレードを搭載してください。

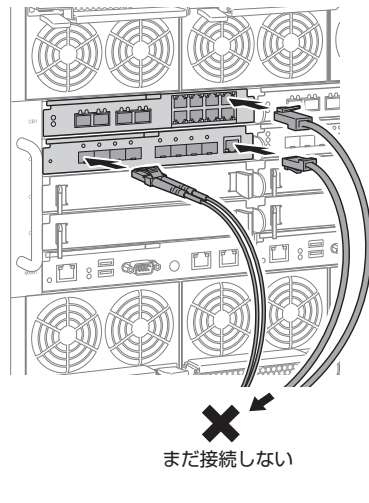
## 5 シャーシ背面に各種ケーブルを接続する

### ケーブルを接続する

各コネクションブレード、マネジメントブレード、および電源ユニットに  
対応するケーブルを接続します。

コネクションブレード

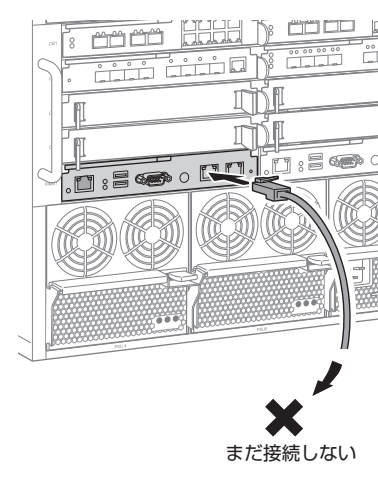
・LANケーブル(xn)  
・ファイバーチャネルケーブル(xn)



まだ接続しない

マネジメントブレード

・LANケーブル(x2)

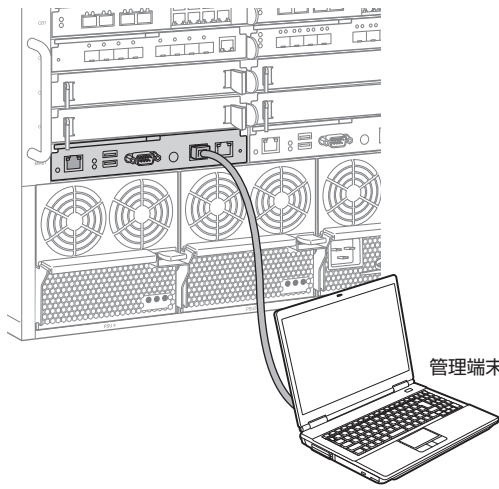


まだ接続しない

LANケーブルおよびファイバーチャネルケーブルについては、すべての設定が完了するまで、  
反対側のコネクタは接続しないでください。

## 6 マネジメントブレードの初期設定をする

### 管理端末を接続する



### SVMFの起動

必要な設定を行うために、マネジメントブレードの  
ServerView  
Management Blade Frontend（以降、SVMF）にログイン  
します。

1. 管理端末のIPアドレスを、マネジメントブレードの初期値  
（192.168.1.10）と同一ネットワーク、かつ重複しない値  
に設定します。
2. 管理端末からWebブラウザを起動し、192.168.1.10に  
アクセスします。
3. 次のユーザー名とパスワードを入力します。  
ユーザー名： admin      パスワード： admin  
SVMFの初期画面が表示されます。

### ファームウェアの版数を確認する

1. 左下の設定項目メニューで「コンポーネント」→「マネジメントブレード」を展開し、「マネジメントブレード-1」をクリックします。
2. 「ファームウェア版数」の値を記録します。
3. 「マネジメントブレード-2」をクリックし、同様に「ファームウェア版数」の値を記録します。
4. インターネットに接続されている他の端末で「PRIMERGY」ページの「ダウンロード」（<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>）を開き、「ダウンロード検索」を  
クリックします。
5. 製品名および型名にお使いの製品を選択し、カテゴリに「ファームウェア」、OSに「OS選択なし」を選択し、「添付ソフト／ドライバ名称」欄に「マネジメントブレード」と入力して「検索  
開始」をクリックします。
6. 表示された一覧から、最新のファームウェアのバージョンを確認します。
7. 手順3で確認したファームウェアが最新でない場合は、最新のファームウェアをダウンロードして更新します。  
ファームウェアの更新手順は、ダウンロードしたファームウェアのドキュメントをご覧ください。

### 初期設定ウィザードを実行する

1. 左下の設定項目メニューで、「設定」の左の「+」をクリックして展開し、「基本設定ウィザード」をクリックします。
2. 「次へ」をクリックします。
3. 「言語の選択」画面で、両方の項目に「日本語」を選択して「次へ」をクリックします。
4. 「日付と時刻の設定」画面で、現在の日時を入力し、タイムゾーンを選択して「次へ」をクリックします。
5. 「設定のインポート」画面で、「設定のインポートの実行」がチェックされていないことを確認して「次へ」をク  
リックします。
6. 「識別情報設定」画面で、システム名などの識別情報を入力して「次へ」をクリックします。
7. 「ネットワーク設定」画面で、管理ポートのネットワーク情報を設定し、「次へ」をクリックします。  
（例）IPアドレス： 192.168.1.10  
サブネットマスク： 255.255.255.0  
ゲートウェイ： 192.168.1.1
8. 「電源管理設定」画面で、「電源ユニット管理の設定」にチェックを付け、冗長構成を選択して「次へ」をク  
リックします。
9. 「暗証番号設定」画面で、LCDパネルを使用するための暗証番号を設定し、「次へ」をクリックします。
10. 「ハードウェアチェック」画面で、「E-keyingチェック」欄の「開始」をクリックしてE-keyingチェックを実行します。  
エラーが検出された場合は、サーバブレードに搭載した拡張ボードとコネクションブレードの対応を確認して  
ください。
11. エラーが検出されなければ、「終了」をクリックします。  
設定が保存され、初期設定ウィザードが終了します。
12. IPアドレスを変更した場合には、新しいIPアドレスでSVMFに再接続します。  
なお、セグメントを変更した場合は、管理端末のIPアドレスも同一セグメントに変更する必要があります。

## 4 各種ケーブルにタグラベルを貼り付ける

### 接続元／接続先を 記入する

タグラベルは、ケーブルごとに接続元用／接続先用が1枚ず  
つ用意されています。下線の箇所に接続先名などを記入して  
ください。

☐ 記入例：電源ユニット用タグラベル（シャーシ側）

元 BX900      PSU #1

先 AC-01      PORT #1

接続元のシャーシ名や接続口番号などを記入します。

接続先のコネクタ名／切替器名／識別名／タップ名／  
コンセント名などを記入します。

### タグラベルを貼り 付ける

ケーブル両側のコネクタに近い位置に、タグラベルの中心  
からケーブルに巻きつけるように貼り合わせます。





